第2講　中央集権国家「日本」の成立

PART4 中央集権国家の目標設定

Chapter1　大化改新

目標
大化改新が行われたのはなぜだろう？
改新の詔の内容はなぜ当時実行できなかったのだろう？

1　大化改新の背景

①7世紀前半の東アジア情勢

618年　〔1　　　〕の成立
　※隋は高句麗征討の失敗と大運河の建設で疲弊して滅亡。

628年　唐の中国統一
　※2代皇帝太宗〔李世民〕が首都の長安を中心に「貞観の治」を展開。
　律令に基づく強大な中央集権国家体制を確立した。

630年　**第一回遣唐使**として**舒明天皇**が〔2　　　〕を派遣

642年　女帝の**皇極天皇**を擁立した**蘇我蝦夷・入鹿**父子が強大な権力を握る

643年　蘇我入鹿が**山背大兄王**（厩戸皇子の子）を斑鳩宮で滅ぼす
　※古人大兄皇子を後継者に擁立。

644年　唐が高句麗征討を開始
　※朝鮮半島や日本など周辺諸国に緊張が走り，
　中央集権の確立と国内統一の必要に迫られた。

蘇我入鹿の首塚

2　大化改新

①〔3　　　〕**(645年)**
〔4　　　〕・**中臣鎌足**らが飛鳥板蓋宮で蘇我入鹿を殺害。

蝦夷は自邸で自害。

※皇極天皇に代わり弟が［5　　　　　］**天皇**として即位。

初めて年号〔元号〕を定めて**大化**とし，

大王宮を飛鳥から難波（のち**難波長柄豊碕宮**が完成）に移す。

※**中大兄皇子**は**皇太子**，**中臣鎌足**は**内臣**，

唐から帰国した**高向玄理・旻**は**国博士**となる。

※大臣・大連を廃止し，阿倍内麻呂を左大臣，蘇我倉山田石川麻呂を右大臣とする。

②「**改新の詔**」（**646 年**正月）→ **4 条**

［6　　　　　　　　　］の政策方針を決定しただけで，

『日本書紀』の記事にあるように実施されたとは限らない。

※従来の氏姓制度・部民制・私地私民制に基づく国政の運営を改めようとした。

また，官人の増加と政治組織の発展に合わせ，

冠位十三階のち十九階と増やしていった。

A　**公地公民制**の原則と部民制の廃止

田荘と部曲を廃止し，有力豪族には食封を，そのほかの豪族には布帛を支給。

B　中央・地方の行政組織や軍事・交通制度の整備

各国の中に行政区画として「**評**」を置き，もと国造などの地方豪族を配置した。

C　戸籍・計帳の作成と班田収授法の実施

D　統一的な新税制の規定

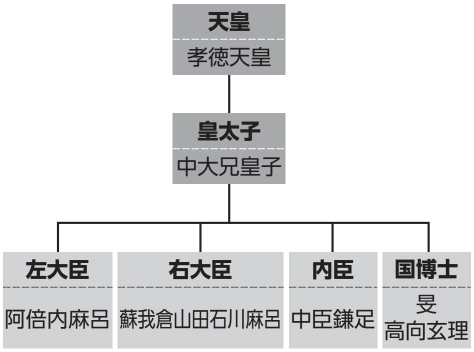
③東北への進出

647 年　孝徳天皇が越後国に**渟足柵**を設置

648 年　孝徳天皇が越後国に**磐舟柵**を設置

658 年　斉明天皇が**阿倍比羅夫**を

東北地方に派遣



改新政治のしくみ

まとめ

強大化する唐に対し中央集権体制の確立が必要になったため，

大化改新が行われた。

改新の詔は，豪族の連合政権的性格残存のため全ては実行できなかった。

Chapter２　白村江の敗戦と天智朝の政治

目標
朝廷最大の危機について知ろう。
天智天皇に対する豪族たちの不満が高まったのはなぜだろう？

1　外政の失敗 ―白村江の敗戦―

①孝徳天皇の死（654年）

翌年，皇極太上天皇が**重祚**して〔1　　　　〕**天皇**となり，難波から飛鳥に大王宮を戻す。

②有間皇子の死（658年）

孝徳天皇の皇子を謀反の罪で処刑。

③百済の滅亡と倭の対応

新羅が中国の唐と結び，朝鮮半島の統一に乗り出す。

660年　唐・新羅連合により〔2　　　　〕が滅亡
※百済復興を目指す鬼室福信らの救援要請を受ける。

661年　斉明天皇が旧百済救援に向かう途中に九州で亡くなる
※中大兄皇子は即位式を挙げず政務執行＝**称制**

663年　〔3　　　　〕
※倭・旧百済連合が**唐・新羅連合に大敗**。
倭は朝鮮半島から撤退。

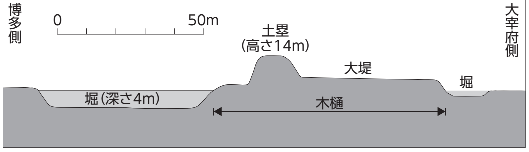
白村江の戦い当時の東アジア

④国防の強化

A　対馬・壱岐や九州北部に
〔4　　　　〕を設置

B　大宰府北方に〔5　　　　〕を設置

C　西日本各地に**朝鮮式山城**や
緊急通信用の烽〔烽火〕を設置
百済の亡命貴族による指導で**大野城**・基肄城（筑前国）や高安城（大和国）を築造。



水城の断面図

D　遣唐使の派遣（665年）

⑤新羅の朝鮮半島統一（676 年）

668 年　唐・新羅連合により

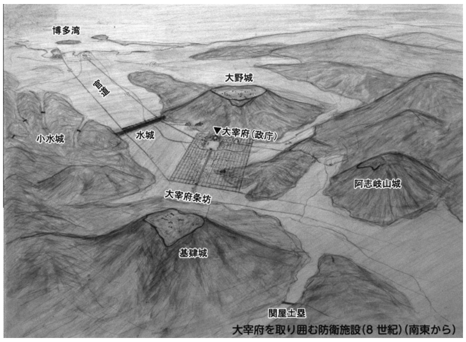
〔6　　　　　　〕が滅亡

※唐との関係悪化のため

新羅が倭に急速に歩み寄る。

676 年　新羅が唐の勢力を追放して

朝鮮半島を統一



水城・大宰府・大野城

2　内政の充実 ―天智天皇の政治―

急激な大王への権力集中は，豪族たちに深刻な不安をもたらした。

664 年　甲子の宣

※冠位二十六階への移行。氏上を定め，民部・家部という私有民を確認。

667 年　〔7　　　　　　　　　〕へ遷都

※飛鳥より内陸へ遷都し安全を確保。

668 年　中大兄皇子が〔8　　　　　〕**天皇**として即位

近江令の制定？

※体系的な法典ではなく個別の法令？

669 年　中臣鎌足の死

※臨終に際し「**藤原**」氏と大織冠を授かる。

670 年　〔9　　　　　　　　〕の作成

※最初の全国的戸籍。**氏姓を正す根本台帳として永久保存が義務づけられる**。

※徴税や徴兵は行いやすくなったが，地方豪族の不満は高まった。

まとめ
白村江の敗戦（663 年）が朝廷最大の危機であった。
急速に権力集中が行われたため，豪族の天智天皇への不満が高まった。

第 2 講　PART 4　確認問題

1　630 年，第一回遣唐使として派遣されたのはだれか。

① 小野妹子　② 阿倍比羅夫
③ 犬上御田鍬　④ 小野道風

2　厩戸皇子の子で，蘇我氏と対立して滅ぼされたのはだれか。

① 山背大兄王　② 古人大兄皇子
③ 中大兄皇子　④ 軽皇子

3　645 年，蘇我入鹿らが滅ぼされた事件を何というか。

① 壬申の乱　② 安和の変
③ 承和の変　④ 乙巳の変

4　**3**の事件後に成立した政権の官職と人物の組み合わせとして正しいのはどれか。

① 皇太子ー中大兄皇子　②右大臣ー中臣鎌足
③ 国博士ー阿倍内麻呂　④左大臣ー高向玄理

5　660 年に唐と新羅の連合軍が滅ぼした国はどこか。

① 高句麗　② 百済
③ 任那　④ 伽耶

6 667 年に遷都された都はどこか。

① 摂津難波宮　② 飛鳥浄御原宮
③ 近江大津宮　④ 飛鳥岡本宮

7 668 年，中大兄皇子は即位して何天皇となったか。

① 皇極天皇　② 天智天皇
③ 斉明天皇　④ 舒明天皇

8 670 年に作成された，わが国最初の戸籍を何というか。

① 庚午年籍　② 半布里戸籍
③ 庚寅年籍　④ 壬申戸籍

第 2 講　PART 4　確認問題 解答

1 解答：③　**舒明天皇**が犬上御田鍬を派遣した。

2 解答：①　**山背大兄王**は蘇我入鹿によって斑鳩宮で滅ぼされた。その後，古人大兄皇子が後継者に擁立された。

3 解答：④　蘇我入鹿は**乙巳の変**で，中大兄皇子・中臣鎌足らによって飛鳥板蓋宮で殺害された。

4 解答：①　②の右大臣は蘇我倉山田石川麻呂，③の国博士は**高向玄理**・旻，④の左大臣は阿倍内麻呂。**中臣鎌足**は内臣となった。

5 解答：②　倭は百済を助けるために朝鮮半島に大軍を送ったが，唐・新羅連合軍に大敗した。この戦いを**白村江の戦い**という。

6 解答：③　飛鳥より内陸へ遷都し安全を確保した。

7 解答：②　中大兄皇子は孝徳・斉明両天皇の皇太子で，近江遷都後に**天智天皇**として即位した。

8 解答：①　③の庚寅年籍は 690 年に持統天皇が作成した戸籍，④の壬申戸籍は明治政府が作成した戸籍である。